

宗前山報

No. 12

慈

音

【発行所】

宗前山 智光寺 長壽院

〒405-0074 笛吹市一宮町国分806-2

電話 0553(47)1629 FAX 0553(47)1629

福
縁



国宝御影堂 平成大修理

落慶記念団体参拝

◆長寿院では今年、四年ごとの団体参拝旅行の年にあたります。幸いにして13年の歳月を経て、完成しました御影堂の落慶記念法要に当たります。

◆落慶法要期間は、今年の5月1日～10月15日です。この落慶記念にわせて10月12日・13日の両日に知恩院参拝を計画しておりますので、檀信徒皆様にはまたない機会ですのでご参加頂きますようご案内致します。

◆なお、くわしいことは3月のお彼岸後になります。

平成19年11月18日19日
参拝時の修理模様



大棟東瓦

大本山増上寺

令和二年度 御忌大法要



◆大本山増上寺では令和2年4月2日から7日まで

の6日間、御忌法要が行われます。御忌法要とは法然上人の亡くなつた日を偲んで営む法要です。

もともと命日の1月25日に法要を行つていきましたが、明治10年から4月に変更になり、現在に至つています。

◆4月7日には御代理導師を山梨教区、甲府組、教安寺 高柳了志上人がお勤めになります。山梨教区にとつても希有の慶事であり、教区あげての支援を行うことになります。

した。長寿院でも7日の御忌法要に組割当人数の4名として現総代と前総代が参加します。



昨年の御忌法要

今年の主な行事

▼春の彼岸法要

・3月20日

・午後2時

▼法然上人ご生誕日

・4月7日

▼釈迦ご生誕日

・4月8日

▼お盆

・8月13日～16日

▼秋の彼岸会法要

・9月22日

・午後2時

▼施餓鬼会法要

・11月8日

▼除夜の鐘

・12月31日

・午後11時30分



◆令和二年年回表

一周忌 平成三十一年

令和元年

三回忌

平成三十年

七回忌

平成二十六年

十三回忌

平成二十年

十七回忌

平成十六年

二十三回忌

平成十年

二十七回忌

平成六年

三十三回忌

昭和六十三年

年忌を迎える家は本堂内に掲示しています。

◆ご法事のお申し込み

なるべく早めにお願い

します。

◆お墓は大切なご先祖様が祭られている場所です。環境保全にご協力をお願いします。

●除夜の鐘

12月31日、恒例の「除夜の鐘」が行われました。

当日は午後11時30分から撞き始めました。参拝者は百八つの鐘にゆく年を振り返り、来る年に気持ちも新たにしていました。今年はおかげさまで近年にない大勢の老若男女の参拝者にお出で頂きました。



◆寒山学校について◆

(謝恩碑と和訳説明板)



境内奥に 1937(昭和12年)年に卒業生が建てた謝恩碑があります。碑の高さは2.9メートル、幅1.3メートル。扁額は浄土宗大本山増上寺大僧正大島徹水師撰文は東京柴山川崎三郎、碑文は祖洞林大濟囑書撰

▼ 1991(平成3年)年に
は深山友雄氏が謝恩碑の
和訳説明看板を寄付して
頂いた。

以下は和訳文です。

永井誠本に師事す 推されて長寿院住職となり權大僧都に任せらる 是より先師は寒山学舎を興し子弟を薰陶す 遠邇より來たりて学ぶ者跡を絶たず明治三十九年寒山学可を得て校舎を新設す。大正二年第二校舎を増築し又二年第二校舎を増築し又州の人なり 明治四年三月十日を以て生まるる考諱は兼藏妣は神出氏 師はその五男なり幼にして聰敏 出塵の志有なり 浄土宗長命寺前田慈仁を投りて出家す二十四年笈を負ひて東上し増上寺竟譽大僧正に従ひて宗戒両脉を受く 師は自ら足ると為さず 哲學館に入りて発憤講学内外諸典に洞通しその業をおへて大学得業士の号を得たり 嘗峠に遊び

んぞその徳を揚して之を勅せざるを得んや 師は長州の人なり 明治四年三月十日を以て生まるる考諱は兼藏妣は神出氏 師はその五男なり幼にして聰敏 出塵の志有なり 浄土宗長命寺前田慈仁を投りて出家す二十四年笈を負ひて東上し増上寺竟譽大僧正に従ひて宗戒両脉を受く 師は自ら足ると為さず 哲學館に入りて発憤講学内外諸典に洞通しその業をおへて大学得業士の号を得たり 嘗峠に遊び

不朽に伝へんと欲し來たりて余に文ももとむ 固辞するも可ならず 乃ち之に繫ぐに銘を以てす

銘に曰く 謹々躬を匪し育英國に報ず 於戯若人誰か徳を仰がざらん東京柴山川崎三郎撰祖洞林大澄囑

昭和十二年十月 寒山学校卒業生有志一同



校舎